

## 霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、本日（14日）05時07分に爆発的噴火が発生しました。

本日、宮崎地方气象台が実施した現地調査では、この爆発により、小さな噴石が火口から北東方向に飛散したことを確認しました。

新燃岳火口から概ね4kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。これまでの噴火では、直径4cmから6cmの小さな噴石は新燃岳火口から7km付近まで達しており、風の状況によっては10kmを超えることもあります。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

### ○活動概況

#### ・噴火活動の状況

本日（14日）05時07分に爆発的噴火が発生しました。噴煙等は雲のため不明でした。この爆発的噴火に伴う地震の最大振幅は新燃岳南西（新燃岳より南西約1.7km）の観測点で16,517 $\mu$ m/s（これまでの最大は2月2日15時53分の5,306 $\mu$ m/s）で、今回の噴火活動の中で最も大きなものでした。空振の最大振幅は湯之野（新燃岳より南西約3km）の観測点で332Pa（これまでの最大は2月1日07時54分の458Pa）でした。

#### ・現地調査（図1、図2）

本日（14日）、宮崎地方气象台は小さな噴石による被害が発生した新燃岳の北東方向で現地調査を実施しました。宮崎県小林市周辺では、上空の強い風の影響により直径1.5～5cmの小さな噴石が新燃岳の北東方向に最大で約16km飛散し、車のサンルーフ等が破損する被害を確認しました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号 平20業使、第385号)。

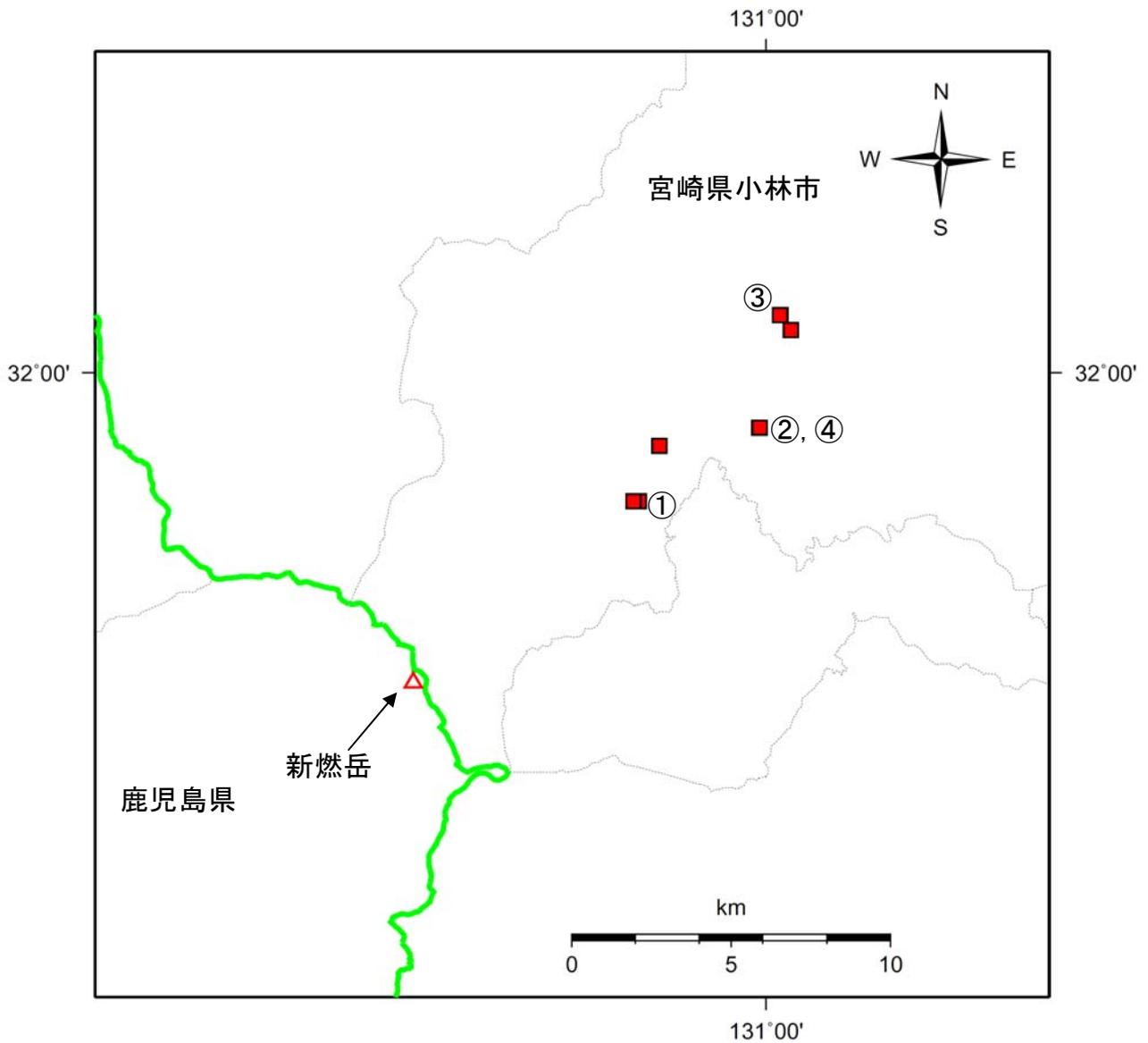


図 1 霧島山（新燃岳） 小さな噴石の調査状況図（2月14日）  
宮崎地方気象台は小さな噴石による被害が発生した新燃岳の北東方向で現地調査を実施しました。  
図中の■は調査箇所、①～④は図2の写真の撮影場所を示します。



①宮崎県小林市細野  
(新燃岳火口から約 8 km)  
噴石の大きさ : 3 cm



②宮崎県小林市水流迫  
(新燃岳火口から約 14km)  
噴石の大きさ : 4 cm



③宮崎県小林市真方  
(新燃岳火口から約 16km)  
車のサンルーフに約 1.5cm  
の穴(赤丸)が開いていた。



④宮崎県小林市水流迫  
(新燃岳火口から約 14km)  
波板屋根に穴(赤丸)が開  
いていた。  
噴石の大きさ : 1.5~2 cm

図 2 霧島山(新燃岳) 小さな噴石の被害状況  
写真の①~③は、小林市役所提供。